

科目名：木材材料学 単位：2単位 [2-0] 科目番号：技 211

対象学年：2年次 講義室：技術棟（109教室） 担当者：福田 英昭

開講時間：毎週月曜日 4限目（14：20～16：10） 許可コード：588t

授業内容：木材および木質材料の性質および木質環境について学習する。主に、木材が人間の視覚・聴覚・臭覚・触覚等にどのような影響を与えるかについて検討する。

- ・上記に関連する計13テーマそれぞれについて、毎回1人が研究発表を行う。
- ・初心者向けに書かれた木材に関する図書の回覧を毎回行うので、計23冊各々についてレポートを提出する。
- ・学校給食用木製食器の貸出を約2ヶ月間行うので、その使用体験レポートも提出する。

第1回（4/20）：講義内容の説明，緑の小宇宙（樹木の生命）について（福田）

第2回（4/27）：やさしい木材の識別（A）

*****（5/04）：みどりの日（休日）

第3回（5/11）：木とにおい-においの建材への利用-（B）

第4回（5/18）：木目はなぜ「なごむ」のか（C）

第5回（5/25）：木材の接触温冷感と官能検査（D）

第6回（6/01）：木はどうして腐るか？（E）

第7回（6/08）：塗料は何年持つか？（F）

第8回（6/15）：木材と学校教育（G）

給食用木製食器の貸し出し予定日

第9回（6/22）：木造住宅の防音（H）

第10回（6/29）：燃えない木材（I）

原始的な火おこしの実技も体験してもらう

第11回（7/06）：文化財の科学的保存法（J）

第12回（7/13）：粘着剤の特性と開発（K）

*****（7/20）：海の日（休日）

第13回（7/27）：楽器と木材研究（L）

第14回（8/03）：マイクロ波と木材の塑性加工（M）

第15回（8/10）：学期末試験（筆記試験）

評価：

- 40%：学期末試験
- 30%：回覧図書レポート（計 23 冊）
- 20%：研究発表（各人 1 テーマ以上）
- 10%：出席率 等

教科書：

日本木材学会 編『もくざいと科学』海青社，1989 年，¥1325-
→ 現在，絶版中になっているので，該当ページをコピーして配付します。

参考図書：

善本知孝 著『木のはなし』大月書店，1983 年，¥1529-
山田正 編『木質環境の科学』海青社，1987 年，¥7200-

履修条件：

特になし。木材加工に興味のある他学科の学生の受講も歓迎する。
技術教育専修の学生は選択科目である。

研究発表について：

- ・発表時間は 1 人につき約 15 分～20 分とする。
10 分以内の発表の場合は，次週，再度の発表をすること。
- ・説明をわかりやすくするために，プリント 1 枚（A3 サイズ 1 枚，あるいは A4 サイズ 2 枚）に要約をまとめて，そのコピーを全員に配ること。
要約は手書きでもパソコン・ワープロでも構わない。ただし，引用文献・参考文献を 3 冊以上明記のこと。
- ・発表者はそのコピーをするために，当日の授業開始時間までに福田までその原稿を持ってくるように。
- ・発表後，質疑応答の時間をもつので，発表者は事前にそのテーマについて十分に学習しておくこと。

講義内容についての問い合わせ先（電子メール）：fukudah@edu.u-ryukyu.ac.jp

欠席する場合も，このアドレスに事前に連絡を下さい（特に当日，研究発表を担当している人は，欠席する場合，必ず連絡を下さい）。